



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局
紀の川ダム統合管理事務所

配布日時

平成30年3月8日

14時00分

資料配付

件名	大滝ダム「ダム見学新聞」コンクール表彰式を開催 ～奈良県内の小学生1008名のすばらしい作品が集まりました～
----	---

概要	<p>●大滝ダムに見学を訪れた小学生に「ダム見学新聞」を作成してもらい、その応募作品の中から優秀作を表彰します。</p> <p>●22年目の今年は17小学校から1008点の応募がありました。</p> <p>●表彰式では、奈良県知事賞、川上村長賞、近畿地方整備局長賞などを表彰し、優秀作品を展示します。</p> <p>●表彰式終了後、受賞者、保護者を対象に大滝ダム見学会を実施します。</p> <p>1. 表彰式日時 ○平成30年3月11日（日）13:30～15:00</p> <p>2. 表彰場所 ○大滝ダム・学べる防災ステーション（奈良県吉野郡川上村大字大滝） 当日の問合せ先：（0746）53-2372（9:30～15:00）</p> <p>3. 開催内容 ○大滝ダム・学べる防災ステーション「ダム見学新聞」コンクール表彰式</p>
----	--

取扱い	—
-----	---

配布場所	奈良県政記者クラブ 五條市記者クラブ
------	-----------------------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所 副所長 北田 恭隆 建設専門官 中嶋 康之 電話 0747-25-3013（代表）
------	--

大滝ダム「ダム見学新聞」コンクール表彰式を開催

～奈良県内の小学生1008名のすばらしい作品が集まりました～

1、開催主旨

大滝ダム「ダム見学新聞」コンクールは、「大滝ダム・学べる防災ステーション」に訪れた子供たちが、大滝ダムや水源地である川上村について、見たこと、学んだこと、感じたことを自ら企画・編集して「ダム見学新聞」にまとめることで、「大滝ダムの役割」や「人と水との深い関わり」を考えてもらうことを目的として、校外学習を支援しています。22年目の今年は1008作品もの多数の応募があり、その内20作品、学校賞1校を表彰するものです。

2、開催概要

1. 表彰日時

○平成30年3月11日(日) 13:30～15:00

2. 表彰場所

○大滝ダム・学べる防災ステーション(奈良県吉野郡川上村大字大滝)
当日の問合せ先:(0746)53-2372(9:30～15:00)

3. 開催内容

○大滝ダム・学べる防災ステーション「ダム見学新聞」コンクール表彰式

4. 入賞作品

○平成30年1月28日(日)に『大滝ダム・学べる防災ステーション「ダム見学新聞」コンクール審査会』を開催し、応募校数17校、1008作品の応募の中から20作品、学校賞1校が選定されました。

入賞作品部門：奈良県知事賞

川上村長賞

近畿地方整備局長賞

奈良県教育委員会教育長賞

川上村教育委員会教育長賞

大滝ダム活用促進協議会長賞

紀の川ダム統合管理事務所長賞

審査委員長特別賞

他

今年度の応募概要：応募校数17校

応募作品数1008作品（受賞20作品及び学校賞1校）

○大滝ダム・学べる防災ステーション「ダム見学新聞」コンクール審査会

審査委員：審査委員長 岸本 憲一良

（山口大学大学院教育学研究科教授）

審査員 向井 英彌

（元 奈良県吉野郡吉野町立吉野山小学校校長）

審査員 田中 幸臣

（奈良教育大学 特任准教授）

審査員 松田 暢裕

（御所市立葛小学校教諭）

審査員 弓場 盛正

（川上村教育委員会教育長）

審査員 阪本 剛吉

（奈良県地域振興部地域政策課水循環・区域水道推進係係長）

審査員 勝谷 征彦

（奈良県教育委員会教育研究所指導主事）

審査員 今福 和男

（奈良県吉野郡川上村水源地課課長）

審査員 松田 晋次

（国土交通省紀の川ダム統合管理事務所長）

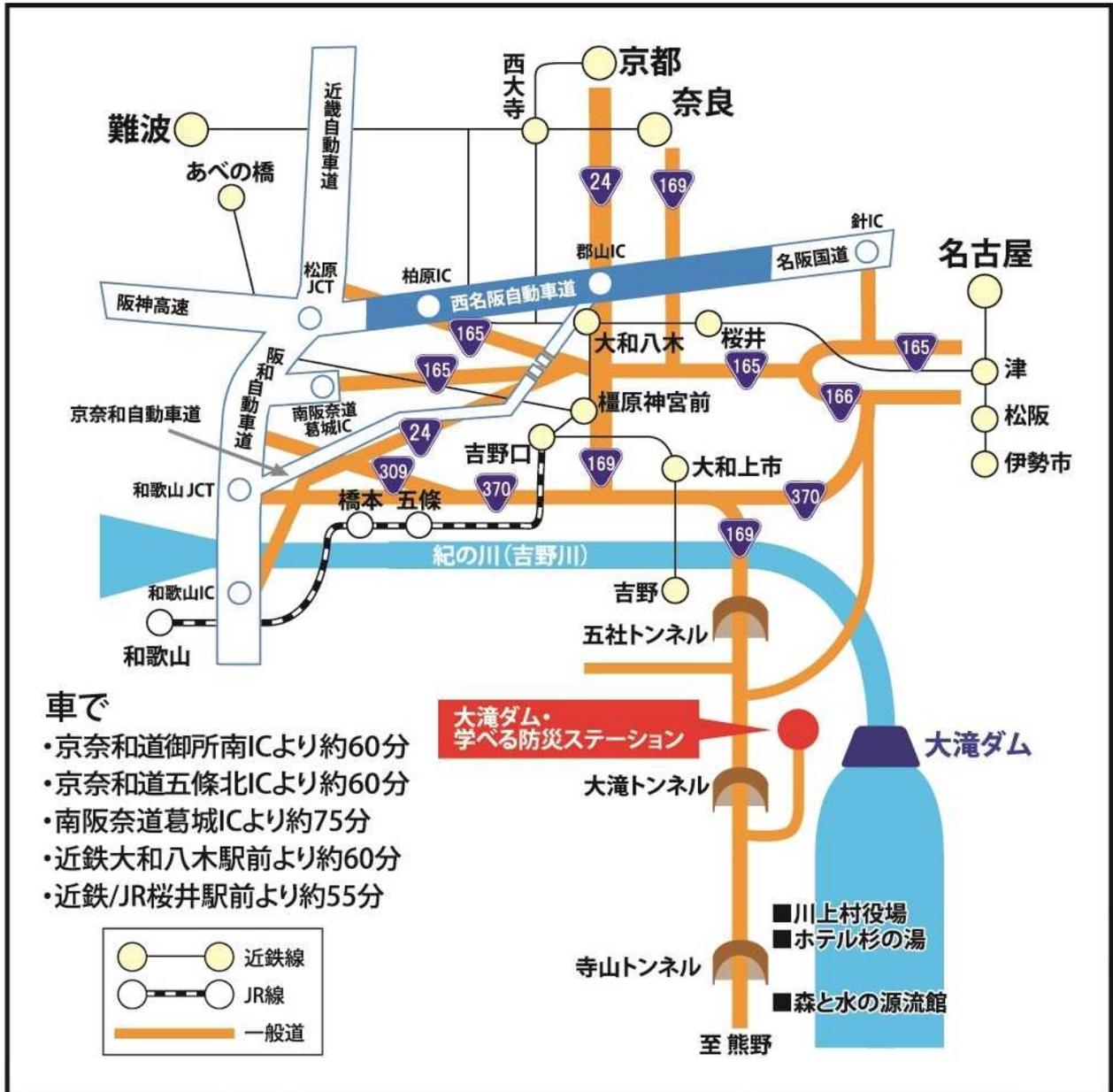
5. 主 催：国土交通省 紀の川ダム統合管理事務所

後援：奈良県、奈良県教育委員会、川上村、川上村教育委員会、
大滝ダム活用促進協議会

3、経 緯

- 平成8年度に建設省近畿地方建設局大滝ダム工事事務所（当時）の主催により奈良県内教育関係者の協力のもと、水と土木とダムについて「見て、さわり、自ら考える」体験学習施設として大滝ダム・学べる建設ステーションがスタート。校外学習で感じた事等を学校の授業の中で「ダム見学新聞」としてまとめた作品を表彰するための「ダム見学新聞」コンクールを開催。
- 大滝ダムが平成25年4月に本運用を開始したことに合わせ、ダムの役割にくわえ、防災の啓発に重点を置いた学べる防災ステーションとして広報活動を実施。
- 今年度の開催までに、延べ参加学校数353校、延べ応募作品数20,672作品に至る。

地図



・お車をご利用の方

国道 169 号線沿い大滝トンネルから大台ヶ原方面へ約 5 分。

問合せ先：国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所

副所長 北田 恭隆

建設専門官 中嶋 康之

電話 0747-25-3013